

搾乳を考える



健康的な乳頭の皮膚



乾燥してひび割れしている皮膚



正常な乳頭



角化症とひび割れを伴い硬く肥厚い

乳頭のチェック

乳頭の皮膚
健康的な乳頭の皮膚（左）と乾燥してひび割れている異常な皮膚（右）

乳頭の先端
正常な乳頭（左）、角化症とひび割れを伴う異常な皮膚（右）

(ホーズデーリイマン第98号1996)



搾乳中は手袋をした手を頻繁に洗います



乳頭清拭後、ペーパータオルか乾燥したタオルで乳頭、乳頭孔を拭き、乾燥させます。

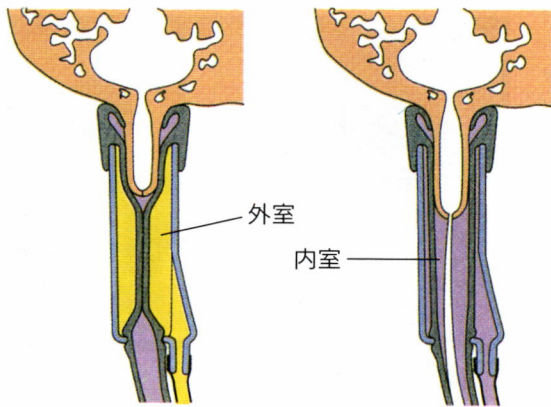
正しい搾乳手順を実践しよう



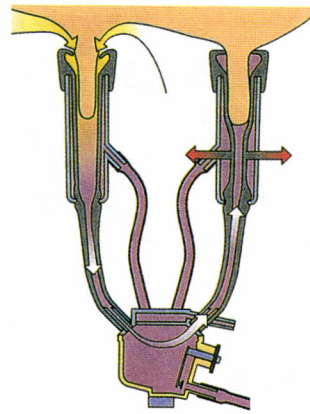
ライナーは空気を入れずに装着します



ディッピング液は乳頭の2/3以上に確実に漬けます



ミルク搾乳の原理
 左のように外室に**大気圧**がかかると、チューブ（ライナー）は内室をしめる
 右のように外室にも**陰圧**がかかると内室が拡大して乳が流れ出る。

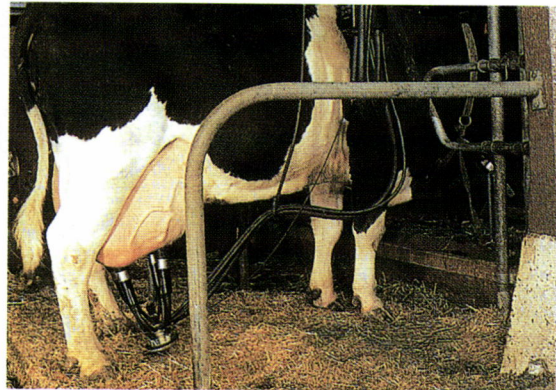


ライナーズリップとは
 ①ライナーがずり落ちて、空気が流入
 ②真空圧の変動が発生
 ③乳が小滴（ドロップレット）となって逆流
 ④乳頭孔から細菌が混入

ミルクの原理とライナーズリップ



不適切なライナー装着
 乳頭とライナーゴムの付着が悪くなりライナーズリップの原因となります。

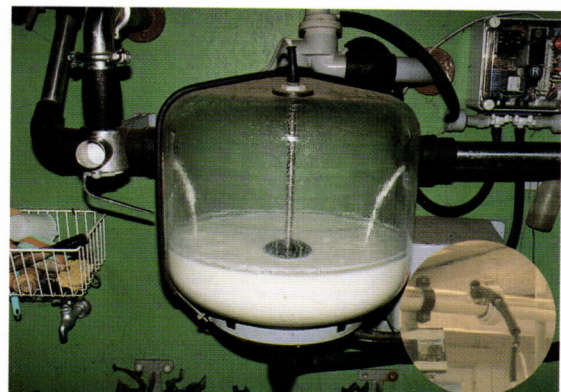


ライナーズリップの防止策
 適切な長さのチューブを使い、ライナー装着後はライナーの方向を正しく調整します。

「搾乳のプロフェッショナル」ナガセ機械販売



衛生的な牛舎環境を牛に提供することは、乳質改善効果があるばかりでなく、乳頭清拭時間の短縮につながります。



ミルク配管内の生乳の流れを良くすることで、搾乳時間短縮がみられる場合もあります。

搾乳に影響を与える要因